

請願第13号	受理年月日	令和2年3月16日
付託委員会	保健福祉委員会	
件名	化学物質による被害（香害）と化学物質過敏症対策について	
要旨	<p>私たちグリーンコープ生協は生活協同組合として地域の中で生まれ、暮らしの視点で地域に根差した活動、事業を行ってきた。食べ物に対する取り組みから始まり、環境問題や平和活動、更には地域福祉、生活困窮者自立支援の取り組みなどへと広がっている。特に環境問題については、身体に与える影響という視点だけでなく、家庭からの排水で水環境を壊すことがないようにせっけん運動に取り組んでいる。</p> <p>しかし、一般的には強い香りの合成洗剤や柔軟仕上げ剤が世の中にあふれている。一方で、バスの中や隣家の洗濯物、学校給食のエプロン等のおいから体調不良や不快を訴える声も聞こえてくる。それを受けて、私たちグリーンコープ生協ふくおか北九州地域理事会では、組合員を対象に香害についてのアンケートを実施し、香害の実態を調査した。</p> <p>北九州市内に住むグリーンコープ組合員2,788名から回答があり、その中の6割以上の方から、香りについて不安がある、実際に香りで不快な思いをしたり、体調が悪くなったりしたとの回答があった。また、体調を崩した場面としては、店内、社内という回答が6割を超えており、そのほかに病院や映画館等の施設という回答もあった。</p> <p>更に、人工的な香料もたばこの煙のにおいと同様に迷惑、友人が香料の件で離職したという声が上がっている。また、香害について市民に情報を発信してほしい、たばこのように人が多く集まる場所では規制してほしいという声が多く上がっている。</p> <p>このことを受けて、市民と子供たちの環境を守るため、下記の内容を請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 市は、公共施設や学校、福祉施設などさまざまな人が利用する施設を中心に、柔軟仕上げ剤等の香料の成分によって健康被害が出て苦し</p>	

んでいる化学物質過敏症の人がいることを周知し、柔軟仕上げ剤等の使用者に対し、香料自粛の啓発を行っていただきたい。

- 2 東京都や滋賀県大津市のように、本市においても、化学物質が市民や子供たちの健康に及ぼす影響を未然に防ぐために独自のガイドラインを制定していただきたい。